

提出日： 2023 年 4 月 26 日

## 研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
戦略経営研究科	教授	犬飼 知徳

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。
	1. 2022年4月 1日 ～ 2023年3月31日 2. 2022年9月 1日 ～ 2023年8月31日 3. 2022年4月 1日 ～ 2022年9月20日 4. 2022年9月21日 ～ 2023年3月31日
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。
	9月から半年間に渡り、UC パークレー日本研究センターに籍を置き、現地での研究基盤の構築を行ってきた。 バイエリアにおける日系企業家のネットワーキングについて研究を進めるために、Haas ビジネススクールのジョン・メツラー先生に研究内容を説明して、研究打ち合わせを行い、具体的な調査計画にご協力いただくことになった。 資料収集と調査という点では、上述の研究のためにまず JETRO と NEDO という日本の公的機関にアプローチすることでバイエリアの全体の概要を掴みつつ、そこからスノーボールサンプリングを行い、日系大手企業の駐在員や現地での起業を目指す起業家などのネットワーキングを広げつつ、聞き取り調査を実施している。
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。
	得られた成果は、3つある。 ①バイエリアの新たな研究の基盤を構築できたこと 主にジョン・メツラー先生と JETRO の吉田健氏にご協力をいただいて、バイエリアの日系企業と日本人起業家を研究するための研究ネットワークを構築することができてきている。まだ、実態調査の域を出ないものの、今後は興味深い研究に発展させることができると考えている。 ②UC Berkeley 日本研究センターにおいて、他の訪問研究員とともに研究発表会を実施したこと 日本研究センターでは、2023年3月に訪問研究者全員が研究発表をする場が設けられた。その研究会において、現在取り組んでいるバイエリアの日本人起業家のネットワーキングに関する研究の中間報告を行い、多くの方々から有益なコメントをいただくこと

	<p>ができた。</p> <p>③②に伴い、学際的な共同研究を立ち上げたこと この研究会がきっかけとなり、バイエリアの「社会正義」を実現するメカニズムを解明する研究に社会学・政治学・行政学・経営学の学際的なアプローチで取り組むことになった。この研究プロジェクトは現在、科研費に応募している。</p>
<p>今後の 計画に ついて</p>	<p>得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。</p> <p>今後の研究計画は次の2つである。</p> <p>①個人研究としてのバイエリアの日本人起業家ネットワークの実態調査とメカニズムの解明の継続 この研究はある程度調査が進んできた段階で学会報告や論文執筆に取り組みつつ、科研費の基盤 C に申請する予定である。</p> <p>②『バイエリアにおける社会正義実現メカニズムの解明』 こちらは、慶應義塾大学、関西学院大学、近畿大学にご所属の先生方との共同研究なので、引き続き情報交換しながら研究を遂行し、各領域の学会に報告しつつ、最終的には学術書の出版を目指している。</p>